



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 321号 2011.4.2 発行 社会政策研究所

最初の記事で、「検察の在り方検討会議」の提言書の中に次のようなものが含まれている。
・・・知的障害によりコミュニケーション能力に問題がある被疑者等に対する検察官の取調べにおいても、取調べの録音・録画を試行するべきである。この試行に当たっては、事案の性質や被疑者の特性等に応じ、例えば、取調べの全過程を含む広範囲な録音・録画を行うよう努めるなど、様々な試行を行うべきである。・・・
今後の政府の検討を注視したい。【kobi】

検察改革案を法相に提言 在り方検討会議

朝日新聞 2011年3月31日

大阪地検特捜部の不祥事を受けて検察改革を議論してきた「検察の在り方検討会議」が31日、江田五月法相に提言を渡した。取り調べの録音・録画（可視化）の範囲拡大や、供述に頼った捜査、公判の見直しに早急に取り組むよう求めた。

江田法相は、「提言の趣旨を最大限尊重し、責任を持って検察改革を進めたい。検察の再生を見守っていただきたい」と語った。

不祥事の背景について提言は「真実解明よりも、社会的影響が大きい事件を立件することが目的化し、保身や組織の体面を優先させるために証拠の改ざんなどに及んだ」と総括した。ただ、取り調べへの弁護人の立ち会いや、検察が持つ証拠の全面開示などの議論は、専門家を交えた「新たな検討の場」に託した。

特捜部の独自事件について一部の可視化を試行する検察に対しては、「全過程の可視化」を検討対象とするよう求めるにとどめた。日本弁護士連合会の宇都宮健児会長は記者会見し、「(求めてきた)全過程の可視化が直ちに実施されず、先送りされたのは大変残念だ」と不満を述べた。

一方で「録音・録画のできる限りの範囲の拡大」を求められたことに、東京地検特捜部の経験者からは「もう、容疑者との信頼関係なんて築けない」と懸念の声が漏れた。ある検察幹部は「録音・録画で失うものは確実にある。事件処理が難しくなることに、どれだけ国民の合意が得られているのか」と話した。(河原田慎一、藤森かもめ)

福祉作業所がよりどころに 障害者、外国人が避難 岩手

産経新聞 2011年4月1日

震災後、障害者や外国人が身を寄せている福祉作業所「ハックの家」＝3月26日、岩手県田野畑村

岩手県田野畑村の福祉作業所「ハックの家」に震災後、言葉や障害の壁で避難所の集団生活が難しい人や外国人が身を寄せている。普段は身体



や知的障害者約25人が通い、就労訓練をする。震災後は利用者の大半が帰宅したため、竹下美恵子理事長（66）が声をかけた。

「身障者用のトイレがあり助かる」と、自宅が流された田子内辰美さん（51）。人工肛門の母、トシヨさん（80）は排せつに時間がかかり、トイレが混む避難所の生活は難しい。勤務先の寮が流された中国人6人も避難した。言葉の壁も「表情やしぐさを読み取ることは慣れているから」と竹下さん。

当初は不足した食料も、大阪府など各地の友人から物資が届き、夕食の雰囲気も明るくなった。夫が経営する就労訓練先の水産加工場が津波で壊滅し先行きは厳しいが、竹下さんは施設再開に向け動きだしている。

震災でかりんとう製造ピンチ 福山の福祉事業所



山陽新聞 2011年3月30日
製造中止の危機に直面している地元の特産品を使ったオリジナルかりんとう

東日本大震災の影響で、福山市引野町南の障害者福祉サービス事業所「ジョイ・ジョイ・ワーク引野」が、地元の特産品を使ったかりんとうの製造中止の危機に追い込まれている。原料の生地を仕入れていた宮城県の食品加工会社が震災で被災したため、関係者は途方に暮れている。

同事業所では、保命酒やピオーネ、アンズなど地元特産品が入ったかりんとうを製造し福山市内などで販売。クッキーのようなサクッとした

歯ごたえが人気を集めている。宮城県女川町の食品加工会社に保命酒やピオーネなどを送り、おからを使った同社特製の生地に練り込んだ後に送り返してもらい、同事業所で利用者7人が低温の油で揚げてかりんとうに仕上げていた。

だが、沿岸部にあった食品加工会社は津波で流されてしまったらしい。同社の社長は避難所にいることがインターネットで確認できたものの、今も連絡が取れない。

運営する社会福祉法人アンダンテの池田正則理事長は「手元の特産品入り原料生地だけでは、1カ月もたない」と頭を抱える。

同社と同じ生地は、青森県つがる市の多機能型事業所が製造している。協力を求める道も考えられるが、福山から送った特産品を練り込む技術がない、特製の小麦粉の在庫が乏しいなど課題が山積。現状では製造継続は見通しがたいという。

ジョイ・ジョイ・ワーク引野では今月、日本財団（東京都）の助成を受けて福山市曙町の元縫製工場を改修したかりんとう専用の製造所「ジョイ・ジョイ・ワークかりん」が完成。4月から従来の約1・5倍の月約2千袋を目標に作業を始める矢先だった。

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町 5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行